

人生の 先輩から…

～100年健康・シニア活躍～



たけうち つとむ
竹内 勤さん
(美女木 89歳)

仲間と共に歩む

竹内さんは29歳の時に戸田市へ移り住み、子ども会の活動でソフトボールに出会いました。仲間と共に立ち上げた「ソフトボール協会」の交流は国内外に及び、海外では、金品やカメラを盗まれたり、雪の中で試合をしたりと大変なことも多くあったそうです。それでも「またこの国で試合をしよう」という思いから、持っていた道具を全て相手チームに渡して帰国したことも。どんな経験も笑って話す姿に、竹内さんのソフトボールへの愛が伝わってきます。

数え年で90歳になった今も、仲間との深い交流は絶えず、誕生日にはオリジナルのTシャツをもらったそうです。「一人ではできないことも、みんなでやればできる。何歳になっても仲間はよいものです」と語る言葉には、竹内さんの人生そのものが映し出されているようでした。



こどもアート館



あおほ みそら
青羽 美空さん
(戸田東小学校 5年)

作品名

「子どもと大人」

たんぽぽの一生を自分自身の成長に重ねて描きました。このたんぽぽと同じように、次の学年に向けて成長していきたいという思いを込めました。

花びらにいくつかの色を重ねることで、立体感を出し、たんぽぽの力強さを表現しました。



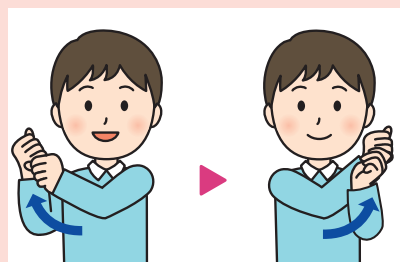
手話でコミュニケーション

第62回

今月は、「応援」「拍手」についての手話を紹介します。

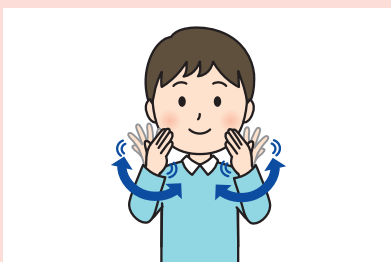
問い合わせ 障害福祉課(内線 297)

● 応援



両手こぶしを上下に構え、緩やかな弧を描きながら左右に振る。

● 拍手



両手のひらを開き指先を上に向け、手首を回しながら手のひらを小さく動かす。



クラウドファンディングに挑戦中！
ご寄付のお願い 2025年 12/12 (金) まで
お問い合わせ 済生会川口乳児院
☎048-256-8500(担当:やぎはし)